鉱山研究会（Japan Mine Research Society）

ニ ュー ズ レター　No. 125　2024 年 4 月 2 日

＊会計報告と名簿は会員のみに後日送ります。

2024 年次大会・総会と第 55 回映像の会の案内

■日時：4 月 27 日（土）18：00～21：00
■会場：東京都中央区立　京橋プラザ　京橋区民館
■問合せ・連絡先：村田淳　電話：045-401-5259
■**報告**：40 分（報告 30 分、質疑 10 分）

①高橋卓弥「別子銅山の歴史的な環境影響評価～燃材と亜硫酸ガスに着目して」

別子銅山については、環境面では森林破壊、亜硫酸ガスによる煙害が思い起こされる。それらにつき、数値的・地理的なシミュレーションを実施した。燃材収穫による森林へのインパクトについては、江戸時代に別子での銅製錬に必要だった木炭の使用量から、持続的に森林から当該量を収穫するには、どれだけの森林面積が必要であったかを推定し、6,000 ヘクタールという数値を得た。

煙害については、旧別子の山中で製錬をした江戸時代、新居浜・惣開で製錬をした明治時代、四阪島で製錬をした大正時代各々について、亜硫酸ガスの発生量を仮定し、簡便な大気汚染シミュレーションモデルである METI-LIS（経済産業省－低煙源工場拡散モデル）または ADMER（産総研－曝露・リスク評価大気拡散モデル）を用いて、汚染の範囲を推定し、被害のあった地域とほぼ一致する結果を得た。

②村田 淳「米国、ネバダの木炭製造」

ネバダ州にたくさんの木炭製造炉の遺跡が残されている。19 世後半頃にイタリア系の移民たちが設置しました。その木炭で方鉛鉱を熔解して銀を産出して銀ブームを起こしました。またラスベガスの北西のはずれにリノというカジノの町があり、そのすぐ東にバージニアシティというシルバーラッシュの街にシルバークインというホテルがあり、かつてそこに宿泊

したことがあります。その南のカーソンシティに米国が銀本位制であった時に米国造幣所がありありました。現在は博物館として残っています。その木炭炉の様子を紹介します。

＊高橋さんは滋賀県彦根市から来ていただきます。多くのみなさまのご参加をお願いします。

■第 55 回映像の会

「蔵王鉱山の歴史と暮らし･労働運動」

蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会制作　2023 年作成　上映時間:約 28 分

■総会　2023 年度運営報告・2024 年度運営計画
2023 年度会計報告・2024 年度会計予算　役員選出　40 分

■会場：東京都中央区京橋プラザ区民館　銀座 1-25-3、
Phone:03-3561-5163　**■案内と地図　最終頁**

■問合せ先：村田　淳　221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22
電話：045-401-5259
メール：sunao-murata@asahinet.jp

2024 年度運営計画および検討課題

① 会員数の減少。会員の高齢化もあり、2 名死亡退会、1 名自主退会、会費の 3 年以上の滞納者の会員資格停止により会員数が減少しました。2 名の入会希望者がありますが、まだ会費の入金を確認できておりません。

現在会員数は 23 件で昨年度より 2 件減少しました。安定的に運営をするには 40 件の会員数が必要です。入会の勧誘を　お願いします。

②研究 99 号の発行は前年度の残金と今年度の会費でまかなえる予定です。100 号の総頁数しだいで、それ以降はの発行については未確定です。

検討事項

（1）会員数の増加に努める。学生・大学院生は割引会費を維持する。
今年度年初め、3 年以上会費を滞納している会員は退会あつかいとする措置を今後も実行します。

①郵送費の削減のために、『ニューズレター』や臨時号の案内をメール配信にします。ただしメールを利用していない会員や印刷物を希望する場合は郵送を維持する。
また『鉱山研究』の贈呈は国会図書館、神奈川県立図書館、九州大学図書館のみです。

②合宿・見学会・巡検などは、従来どおり経費を参加人数割にして、その時点で精算する。
③例会･映像の会など会場費を必要とする場合は寄付で充当する。
（２）各行事ともに参加者が少なく、企画内容に工夫が必要。
（３）例会や大会での報告者が少ないので、会員か否かを問わず、報告できるひとを積極的に探す。報告した人には入会を促す。
（４）合宿、巡検や見学会は、会員の希望を受けて、それに従って見学地を選定する。
　鉱山遺跡は存在そのものが所在不明になりつつあります。今後はほとんどの鉱山遺跡は、現在の時点をのがすと見学できなくなります。積極的に見学を行いましょう。
（５）各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
（６）『鉱山研究』には、大会や例会での報告をできるだけ掲載する。また非会員の原稿も掲載し、その後入会を促す。
（７）『鉱山研究』の 100 号は記念号にする。
■行事回数　①年次大会・例会３回（大会､）（合計４回）　②見学会・巡検２回　③映像の会３回（総会時 55 回、56 回、57 回）　④海外文献の会５回（参加者がなく休会中）
■刊行回数　①『鉱山研究』100 号　2025 年３月 17 日発行　１回
②『ニューズレター』No.125、126、127、128、号外（随時）

2023 年度運営報告

■行事回数　①年次大会・例会３回（大会、195、196、197）（合計４回）
②見学会・巡検２回　③映像の会３回（総会・52 回、53 回、54 回）
④海外文献の会５回（参加者がなく休会中）
■刊行回数　①『鉱山研究』99 号　2024 年 5 月中発行予定　1 回
②『ニューズレター』No.121、122、123、124、125 号外（随時）

2023 年

5 月 13 日（土）ＮＬ120 発行発送（総会・映像の会案内ほか）
6 月３日（土）2023 年度総会、第 52 回映像の会　参加者：4 人　寄付：1,500 円
7 月 31 日（月）『鉱山研究』98 号発行・発送
7 月 31 日（月）ＮＬ121 発行・発送
（総会報告、例会案内ほか、名簿添付、会費請求（会員のみ）
8 月 26 日（土）午後、第 195 回例会　村田 淳「金属（鉱物）が大和政権

の成立にはたした役割～書籍紹介・石母田正『日本の古代国家』～」
会場：東京都中央区京橋プラザ区民館　参加者：2 人
9 月 28 日（木）ＮＬ122 印刷・発行（増冨鉱山巡巡検案内ほか）
10 月 15 日～22 日　ＡＭＨＣ Reefton, ＮＺ（ＷＣ）（村田 淳参加）
11 月 6 日（月）ＮＬ123　発行（53 回映像の会、196 回例会予告、原稿募集ほか）
11 月 11 日（土）～12 日（日）増冨鉱山巡検　参加者：3 人
12 月 9 日（土）第 53 回映像の会　（新大牟田市史　付録ＤＶＤ）参加者：2 人
12 月 22 日（金）『鉱山研究』99 号原稿締切（案内通知 10 月 6 日、11 月 6 日）

2024 年

2 月 3 日（土）第 196 回例会（高岡追悼　ＡＭＨＣ報告, Reefton、ＮＺ）
５月中『鉱山研究』99 号発行・発送（高岡秀俊追悼、金丸哲也、村田淳ほか）

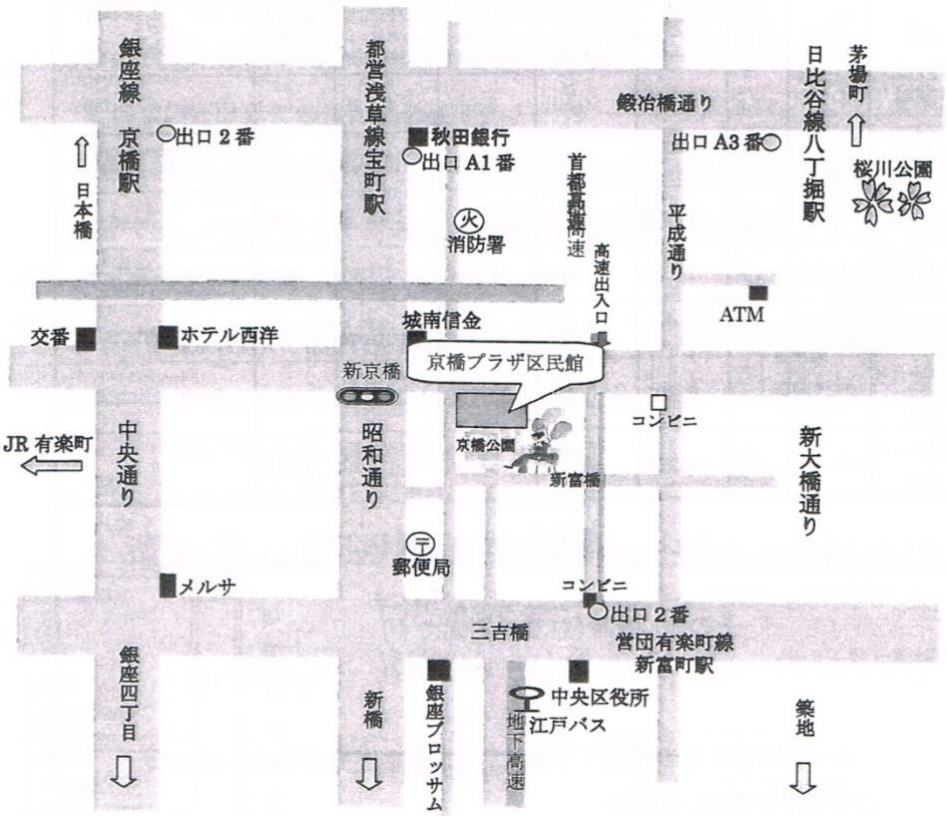
『鉱山研究』100 号の企画と原稿の募集

2025 年 3 月発行予定の 100 号を記念誌にします。また鉱山研究会は「金属鉱山研究会」に 1973 年 11 月創立からかぞえて、今年 11 月で 50 年目になります。

それを記念して企画とかアイディアや投稿のお考えをお持ちのかたは村田淳までおよせください。

会場：東京都中央区立・京橋プラザ区民館

Phone: 03-3561-5163　104-0061 東京都中央区銀座 1-25-3

最寄駅から徒歩　JR 有楽町 12 分　江戸バス・区役所前 3 分

　地下鉄；浅草線・宝町 3 分　銀座線・京橋 5 分　有楽町線・新富町 3 分　日比谷線・八丁堀 6 分